

## 岩手県立浄法寺高等学校分校移行準備委員会（第1回）議事録

日 時 平成19年9月27日（木）15:30～16:30  
場 所 浄法寺カシオペアセンター会議室  
出席者 鳩岡委員（委員長）、菊池委員（副委員長、事務局）、清川委員、阿部委員、  
金田一委員、三浦委員、佐野委員、天沼委員、千葉委員（事務局）、  
吉田委員（事務局）  
岩手県教育委員会事務局 鷹嘴高校改革担当課長、熊谷主任指導主事  
傍聴者 一般 0人、報道 2人

### 会議の概要

<進行：事務局 千葉>

#### 1 開会 <事務局 菊池副委員長>

・本委員会は県の審議会に類する会議として公開している。会議終了後、会議の状況をホームページ上で公開することを了承願いたい。

#### 2 岩手県教育委員会挨拶 <鷹嘴担当課長>

第1回浄法寺高等学校分校移行準備委員会の開催にあたり、一言ごあいさつ申し上げます。本日は浄法寺高校教育振興会会長様、二戸市教育委員会教育長様をはじめとする委員の皆様には、何かとお忙しい中ご出席をいただき誠にありがとうございます。

また、日頃より本県教育の推進につきまして深いご理解と、ご支援、ご協力をいただいておりますことに、この場をお借りいたしましてお礼を申し上げます。

さて、平成17年7月19日に策定いたしました、県立高等学校新整備計画後期計画に基づきまして、この度、浄法寺高等学校が福岡高等学校の分校に移行する運びとなり諸準備を進めていくことになりました。浄法寺高等学校は、昭和23年福岡高等学校の分校として設置され、昭和50年には浄法寺高等学校として独立し、平成16年には独立30周年を迎えております。この間、地域の皆様から多大なるご支援をいただき、地域に根ざした特色ある教育を行うとともに部活動でも数々の業績を上げ、特にも相撲部は全国的に活躍してきたところであります。卒業生も2700名を数え、有為な人材を県北はもとより県内各地、そして全国へと輩出してきたという輝かしい歴史と伝統を誇っていることは皆様にご案内のとおりでございます。

この度の分校移行にあたりましては、浄法寺高等学校を支えてこられた地域の皆様の熱い思いに充分応え、福岡高等学校浄法寺校としての新たな教育環境の充実について、今後とも皆様方の継続したお力添えをお願い申し上げます。本日の会議で活発かつ建設的なご協議がなされることをご期待申し上げまして挨拶とさせていただきます。

#### 3 委員の委嘱及び紹介<鳩岡委員長>

・資料1は「浄法寺高等学校分校移行準備委員会設置運営要綱」になっているが、これについては、既に県教委のご指導のもと浄法寺高校事務局のところで定めている。要綱の（職の設置）第5の2により、本校となる福岡高等学校校長が委員長になります。また、副委員長には浄法寺高校校長を指名します。

・委員については、要綱の（委員）第3に基づいて既にご委嘱し、本日まで出席していただいているので、予め了解願いたい。

【資料の「岩手県立浄法寺高等学校分校移行準備委員名簿」の順に委員を紹介】

#### 4 協議事項 <事務局 千葉>

・要項の定めにより、委員長が協議の議長になる。

##### (1) 教育目標などについて <事務局 千葉>

【教育目標などについて（資料2、資料3）説明、提案】

<鳩岡委員長>

・これから、委員の皆様からご意見をいただくが、委員名は実名で議事録に掲載されるので了解願いたい。

<金田一委員>

- ・ただ今の提案について、校是の部分、学校経営方針等、浄法寺高校のこれまでの伝統と歴史をある程度汲んでおり、基本的に賛成する。
- ・今後いろいろな面でもし見直しの必要があると考えた場合、変えるということも考慮していただけるのか。
- <事務局 菊池副委員長>
- ・分校移行を進めるに当たっては案のとおりだが、今後やってみて、不都合があれば変えていくということではよいのではないか。
- <鳩岡委員長>
- ・(1)の教育目標などについてはご了解をいただいたということで決したい。
- (2) 校章・校歌などの取り扱いについて <事務局 千葉>
- 【校章・校歌などの取り扱いについて(資料4、資料5、資料6)説明、提案】
- <金田一委員>
- ・浄法寺高校の校歌を讃歌という形で残すという案だが、これはどういう場面で使うことを想定しているのか。
- <事務局 菊池副委員長>
- ・例えば、卒業式の際に校歌を歌うわけだが、これは福岡高校の校歌になる。卒業式では以前であれば「仰げば尊し」を歌ったものだが、その「仰げば尊し」を歌う場面でこの讃歌を使用したらどうかと考えている。
- <清川委員>
- ・「仰げば尊し」の代わりに讃歌を歌うということだが、現在歌っている所もあるのか。
- <事務局 菊池副委員長>
- ・ここ20年、30年位は歌っていないようだ。
- <議長 鳩岡委員長>
- ・知り得る限りでは、今でも盛岡二高は歌っているはずだが、他はあまりきかない。
- <金田一委員>
- ・校歌というと高校野球で使われるが、こういった場合でも讃歌でもよいのか。
- <事務局 菊池副委員長>
- ・この件については県の高野連に問い合わせた。県の高野連も全国の高野連本部に問い合わせた結果、該当する両校でどちらにするのかを決定すれば、どちらでかまわないとのことだ。従って、讃歌を歌うことも可能である。
- <阿部委員>
- ・部活動はそれぞれ別々にやるんだという事だが、交流とかそういうものはないのか。
- <事務局 菊池副委員長>
- ・高体連等の登録も別々に行うので、単独チームとして出場する。応援歌等についても従来のものを引き継いでいきたい。
- <鳩岡委員長>
- ・本校の立場で言うと、例えば吹奏楽部の場合、分校の生徒が本校に来て一緒に演奏するなど想定していいのではないか。
- <清川委員>
- ・浄法寺校の生徒のクラブ活動をする場面が分校にないとするれば、本校に行って一緒に活動することは可能か。
- <鳩岡委員長>
- ・専門部の規定があり、一概には答えにくいだが、いずれ弾力的に活動させる方向で考え、生徒の立場にたつて良い方向で対応することになる。
- <金田一委員>
- ・校章・校歌等が一緒なのに、スクールカラーだけを分けるのは何か訳があるのか。
- <事務局 菊池副委員長>
- ・地域にも馴染んでいるということと、在校生もこのスクールカラーで学校生活を送ってきており、できるならばこれを継承するという形で考えている。
- <金田一委員>

- ・何らかの形で本校と分校が一緒になる場面は、実際はどんな場面や行事が考えられるのか。

<事務局 菊池副委員長>

- ・行事的には、芸術鑑賞を福岡高校と合同で行うことも考えられる。また、例えば福岡高校は進学校なので進学に関わる情報をいくらか提供してもらおうとか、夏休みの進学課外等に進学希望の生徒を受講させるなどができるのではないかと考えている。

<鳩岡委員長>

- ・(2)の校章・校歌などの取り扱いについては基本的に了解をいただいたということで決したい。

(3) その他

<事務局 千葉>

- ・特に事務局では用意していない。

<金田一委員>

- ・今現在、来年度募集停止になる久慈山形校とか、統合に向けて話し合いをしていることが新聞等で報道されているが、浄法寺校の場合も何年か先にこういった事態にならないとは限らない。そういった場合には、統合の形態等についてまた改めて協議の場を設けていただけなのか。

<県教育委員会 鷹嘴担当課長>

- ・今の後期計画の中では小規模校ルールとか分校ルールがある。それに則った形で進めているので、例えば分校維持が厳しい状況になったと判断されたときには地域のみなさんと協議をしながら、今でいうと統合形態検討委員会という形で各地で開催しているが、そういう形で話し合いをしながら進めていく。一方的に私どもの方で決めることはない。

<金田一委員>

- ・要望ですが、分校になると校長、事務長がいなくなり、クラスも一つ減るということで、現在15名の先生方が10名位に減ってしまうのではないかと心配している。分校に移行するのは浄法寺が初めてのケースなので、ショックを和らげるというか、決められたとおりにすぐに減らすのではなく柔軟に対処願いたい。

<県教育委員会 鷹嘴担当課長>

- ・実際には教職員課が所管なので、一般的なことでしか話すことができないが、普通で考えると、今話があったとおり校長や事務長はいなくなることになる。先生方については、高校改革の立場として、弾力的にということ及びそういう要望があったということは伝えたい。

<鳩岡委員長>

- ・以上で協議事項を終了する。

5 その他 <事務局 千葉>

- ・協議事項が終了したので、この会は今後開催しないこととする。なお、分校移行に係る細部については、両校で協議し、事務局で処理させていただくことを了解願いたい。

6 閉会 <事務局 菊池副委員長>